



大野一區 ニュース

敬老会から長寿祭へ

福祉部会長 前田 龍雄

前田福祉部会長の開会宣言



10月13日(土) 青く晴れ渡った秋空の下、新築された大野東市民センターで長寿祭を開催しました。今年度から”敬老会”を”長寿祭”と改称し、子ども達とのふれあいや娯楽性の高いアトラクションをテーマに、スタッフ含め参加者全員が

大きな口で囃んで廻り、皆さん大喜びでした。次の”東小のコーラス”では、先生のピアノ演奏で



大野東小有志による合唱

6名の生徒が元気よく歌ってくれ、午前の部の最後が”かえでの森合唱団”と園児達のコーラスでした。ママと園児合せて約30名が出演し”遠い日のうた、にじ”等、4曲のコーラスを披露してくれ、ママたちの美しい歌声に混じって子ども達



青柳区長挨拶

眞野市長挨拶

井上市議挨拶

楽しめるお祭りとなりました。今年は75歳以上の902名に案内し、153名の参加を頂きました(内訳は75~79歳44名、80歳以上109名)。始めは青柳区長の挨拶に続き、来賓の眞野市長、井上市会議員に祝辞を頂き、石川さんの司会により佐方獅子舞保存会による”獅子舞”でスタートしました。三頭の獅子の勇壮でダイナミックな舞は素晴らしく、又、会場へ降り、厄払いで参加者の頭を



かえでの森合唱団の皆さん

の可愛らしい声が響き、会場の皆さんの顔も思わず綻んでいました。お昼休みは、沖村万年青会会長の乾杯の音頭で、皆さんの長寿と健康を祈りました。そして、食事が終わった頃、青柳区長による高齢参加者の紹介が有り、今年の95歳以上は安本時子さん、三好信彦さん、牧本哉恵さん、下村富男さん、松井善美さんの5人でした。ちなみに、安本さんは100歳になられています。



佐方獅子舞保存会の皆さん



万年青会沖村会長による乾杯の音頭



高齢参加者の紹介



午後の部は、廿日市を中心に評判の高い”おだまり一座みかわの玉三郎歌謡ショー”でスタートしました。会場後ろのドアから、黒いドレス姿で美川憲一の歌を歌いながら現れ、会場は驚きと同時に一瞬にして魅了されたようでした。そして、美空ひばりや美輪明宏等の歌を抜群の歌唱力で披露

みかわの玉三郎 歌謡ショー



すると同時に軽妙なトークを交え大いに会場を楽しませてくれました。最後は、幼児、小学生4人とサポートのお母さんによる”柿の浦太鼓”でした。幼児の太鼓を打つ可愛い仕草に皆メロメロになっ

すると同時に軽妙なトークを交え大いに会場を楽しませてくれました。



柿の浦太鼓の演奏

ていました。そして、今年も牧本さんが、お揃いの赤いカーブのTシャツを着た、5人のバックダンサーを引き連れ、北国の春の歌声と共に恒例のリズム体操で”長寿祭”を締括ってくれました。

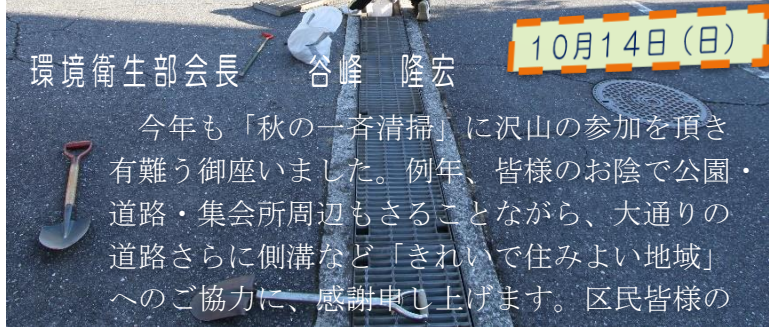
最後に、長寿祭に向けご協力を頂いた副区長、組長さん、役員、民生委員、福祉部会員の皆さまに紙面を借り、改めてお礼を申し上げます。



リズム体操 北国の春

グレーチングを外して側溝の清掃車の往来にも配慮しています

秋の一斉清掃



10月14日(日)

環境衛生部会長 谷峰 隆宏

今年も「秋の一斉清掃」に沢山の参加を頂き有難う御座いました。例年、皆様のお陰で公園・道路・集会所周辺もさることながら、大通りの道路さらに側溝など「きれいで住みよい地域」へのご協力に、感謝申し上げます。区民皆様の

地域美化への向上の高さを誇らしく思います。これからも大野第一区地域の美化活動の継続の為皆様のご協力・応援を宜しくお願い致します。



柿の浦6号公園

地域別ふれあいサロン

11月28日(水)



～宮島口、宮島口東、福面～ 柿の浦集会所

福祉部会長 前田 龍雄 今回は佐野・楨原両氏にサロンマネージャーをしてもらいました。開始前の”保健師タイム”では、大野支所の保健師5名による、参加者への血圧測定と健康相談が有り、サロンは吉原氏の司会でスタート。午前中は”健康講座”(地域リハビリ広域支援センターの担当)で、運動機能の維持改善のため、ストレッチや筋力アップの指導を受けました。昼休みは、弁当とスタッフ手作りのお吸い物を、美味しく頂きました。午後は”お楽しみタイム”とし、まずは石井・藤井両氏によるマリンバとピアノの合奏を。演奏の最後は”それ行けカーブ”を全員で合唱し、終わりに恒例となった”ビンゴゲーム”では、全員景品を獲得し大喜びでした。

お砂焼祭りに出演！

一区ニュース



10月14日（日） 宮島口ロータリー前イベント会場

総務部会長 鈴木 一成

中学生が部活の関係で出演できず、小学生5名の参加でしたが、大太鼓1名、長胴太鼓3名、締め太鼓1名の構成で柿の浦太鼓オリジナルの「郷の響き〜翔」を力強く演奏、観客からも温かい拍手を頂きました。特に、外国からの観光客は足を止め、和太鼓の音色、打ち手の衣装などに、好奇の眼差しが向けられ、多いに喜ばれていました。また、12月9日（日）東広島芸術文化ホールで開催された、けんみん文化祭和太鼓フェスティバルに出演しましたが、健闘むなしく全国大会には駒を進めることができません。新リーダーの金本慶人君（東小5年）は「大勢の前で堂々と演奏でき、練習以上の成果を得たことは大変嬉しかった」と。よく頑張りました！



柿の浦太鼓 演奏披露



柿の浦太鼓 大勢の見物客

10月21日（日）子ども会2班では亥の子が行われました。2班の子ども会会員とその兄弟姉妹15名が参加しました。近隣のご家庭20件ほど巡り、「亥の子餅ついて、繁盛せえ！繁盛せえ！」と元気な掛け声が秋空に響きました。



亥の子

ソフトバレーボール大会

行事推進部会長（運動会担当） 岡田 厚子



大野東中体育館での全景

初秋を迎え初めた10月28日（日）、大野東中学校体育館で第21回一区ソフトバレーボール交流会が、体育推進協議会の主催で実施されました。参加者126名、26チームのエントリーで各部門に分かれ、6コートを使用、小学4年生から82歳のシニアの方までの参加でした。笑顔での応援や声援もあって、心地よい汗を流しケガをされた方もなく、皆様と身体を動かして楽しい交流会は無事に閉会となりました。毎年恒例の参加賞、みかんの準備にはご苦労されているみたいですね。甘くて美味しかったです。



ネット際のプレー

地域交流発表会



子どもサバイバル教室担当 中川 和之

10月18日（木）14時より廿日市市役所7階会議室にて、はつかいち情報交換会があり、一区役員3名が参加しました。今回は「一区子どもサバイバル教室」について眞野市長や市内各自治会関係者に説明を行いました。この催しは、次年度以降のまちづくり挑戦事業補助金の審査も兼ねているとのことで、区長はじめ役員の説明にも力が入りました。説明の後の反響も大きく、市内で注目される事業となっています。今後も一区の皆様のご協力を宜しくお願い致します。

花いっぱい運動G 田坂 弘和

2018自然災害を振り返って

大野一区防災部会長 野田 崇

災害を忘れるどころか、次から次へと襲ってきた

- 6月・大阪北部地震 震度6 登校中の小学生がブロック塀の下敷きで犠牲
- 7月・西日本14府県で集中豪雨 犠牲者200名以上 広島県は土砂災害で68名犠牲
- 7月・台風が東から瀬戸内海を横断 観測史上初めて
- 9月・台風21号大阪が記録的高潮被害 関空冠水
- 9月・北海道胆振東部地震 厚真町 震度7 犠牲者40名以上
北海道ほぼ全域でブラックアウト

幸運なことに大野一区の被害は軽微でした

7月5日からの西日本集中豪雨は、200名以上の犠牲者の内、広島・岡山・愛媛に集中して発生しました。広島では112名の内68名が土石流の犠牲になっています。さらに山陽本線・呉線・芸備線・福塩線と県内全てのJR線が土砂災害で不通になりました。道路も県内170余箇所、山陽道・クレアラインも不通になりました。土石流の犠牲者は、4年前に発生した広島市北部土砂災害と同様に山沿いの住宅団地に集中しています。幸運なことに大野一区の被害は軽微でしたが、山沿いに団地が立地しており土砂災害に対する防災・減災対策が急務です。大阪北部地震は、通学・通勤時間帯に発生した人口集中地の直下型地震でした。もう少し規模が大きかったら、犠牲と混乱が広がったと予想されます。小学生のブロック塀下敷きによる犠牲は、県内でもブロック塀点検の取組みになっています。北海道胆振東部地震は、未明の午前3時頃の発生で就寝中に震度7・山津波に襲われて40名が犠牲になっています。時と場所を問わず地震は発生します。五日市断層群の地震で宮島口は、震度7が予想されています。他山の石とせず教訓にすることが大切です。これら、間断なく災害が発生した今年ですが、大野一区の被害が軽微でも課題が多くあります。7月の西日本豪雨のさなか、避難指示(緊急)が大野一区地域に発表されましたが、ホテルに非難された一世帯以外避難行動に移った人が一名も無かったことです。私達は、「自助」「共助」「近助」行動の基本「自分のいのちはじぶんで守る」とは、具体的にどのような行動を取ればよいのか、再確認する必要があります。4地域防災会の役員は、役割を果たすために、どのような行動をするか議論を深めておくことが重要になっています。

防災会の未熟さを痛感した2018年でした。

台風接近(防災ファミリー運動会)秋雨前線による大雨(4地域総合防災訓練)で中止になった防災訓練を課題と反省を踏まえH31年2月3日(日)に再度計画をしましたので、参加してください。

昨年11月、バス通りの花樽の植替えを行いました。この作業は、一区の美化活動を推進する伝統行事となっています。撤収作業は、いつもながら万年青会有志お二方の応援を頂き、そして4日後は土づくり、花植え、樽設置が行われました。子ども会、役員、花いっぱい運動Gの皆さんのお手伝に感謝いたします。今回は、花樽の土が随分痩せていたため「肥えた土づくり」

花樽の土作り ミキサーで攪拌



パンジーとチューリップの球根を植付けてバス通りへ移動

に重点を置きました。お蔭で今年のパンジーは、元気に咲きほころぶことでしょう。当日は日頃土遊びなど出来ない子ども達もお手伝いしながら思いっきり穴掘り



バス通りへの再設置

地域総合防災訓練再度実施



設置後の水やり

などして、はしゃいでいました。また6月にもお手伝いしてね。みなさん応援ありがとうございました。